

e-ビーフNEWS 北の牧場から

April 2020

月刊情報誌

No.76

発行
特定NPO環境リサイクル肉牛協議会
〒080-0047
北海道帯広市西17条北2丁目44-10
TEL/FAX 0155-66-5159

十勝は春近し

今日は大雨です。十勝は積雪ゼロになりました。3月連続で大雪があり、一面真っ白に変わりました。木々やススキの穂も雪をまとめて樹氷となり、白粉化粧しました。今年の異常な雪=水不足が解消されました。帳尻が合うものですね。これで春先からの畠の耕作の支障が解消されます。土に十分に含んだ水分が、これから育てる作物に大いに役立ちます。

新型コロナの影響で、各社、学校の休業、各イベント特に学校関連行事、各団体の総会等中止延期が相次ぎます。北海道は先んじでいましたので、今は小康状態です。目に見えないウィルスとの闘いは、人畜共通の永遠の課題でしょう。原因は洋々に言われますが、環境の変化が少なくとも、拡大させています。今一度、次世代のためにも、真剣に環境問題に取り組む必要性があります。私たちの活動も少なくともその意義に基づいていることを認識し、みなさんと取り組んでいることを誇りに思います。ここはじっくり頑張りましょう



活動のお知らせ

各総会延期

4月中……………HOBA北海道オーガニックビーフ振興協議会、北海道短角牛振興協議会
北海道アンガス牛協議会総会

下記開催延期または中止

6/12道総研……………畜産試験場 環境リサイクル肉牛協議会 総会&飼養技術研修会

NEWSばか読み

- 中国 新型コロナで日本を隔離対象国へ
3/4:日本が先にやるべきだったね
- 新型コロナ 世界企業1-3月減益 資源、物流が停滞3/4:現経済のスキ
- バッタ アフリカ東部アジア南西部で異常発生 農業被害が深刻
3/4:自然の驚異
- 新型コロナ 食品市場をゆらす 和牛・青果下落 外食に陰り
3/4:どこかで食べる
- 日本製紙 木材セルロース原料で牛飼料を開発 有料サンプル配布へ
3/5:木を食べる
- 中国 鉄鋼在庫が最高に 建設業が停滞3/5:世界の経済柱が止まると
- 和牛子牛相場 6か月連続下落 肉値の値下がりが影響
3/5:影響がリアルに反応
- 1月農林水産物の輸出 昨対6%減 無税枠拡大で米国向け和牛減
3/6:駆け込み減
- 2月外国人入国者 激減100万人切る 昨年237万人
3/7:激変対応必須
- 都心の人出 大幅減オフィス街2割 夜銀座半分3/7:寂しい
- 三菱ケミカル TOTO人工光合成の本格実験開始
3/7:植物に学ぶべきもの
- JA全農チキン 明治の子会社アサヒブロイラーを買収 中食強化へ
3/11:インテグレート強化
- 高校野球 春の選抜大会が中止3/12:ギヤフン 十勝から2校出るのに
- 損保ジャパン 食品会社向け農作物不作で補償保険
3/12:ここまで保険

- 國際相場全面安 新型コロナで中国需要減 飼料価格も下げ圧力
3/12:すべてがコロナで回る
- 戸戸ビーフ苦戦 新型コロナで19%安 外食や輸出が直撃
3/13:高級系が打撃大
- WHO 新型コロナをパンデミックとして認定
3/13:世界がウィルスで混乱
- スーパー 納豆・ヨーグルト好調 免疫力アップ食品に需要増
3/14:基本に戻る
- 農水省 牛血統不一致で調査開始3/14:まだまだ続くこの事象
- 指定団体 2月生乳で都府県分が4年ぶりに増に変わる
3/17:底打ったか
- 訪日中国人の豚肉持ち込み摘発17万人 アフリカ豚熱侵入不安つのる
3/17:認識
- 米国、新型コロナで外食自粛要請 夏までの可能性
3/18:流通構造変化
- 巣ごもり 通販押上げ アマゾン最高水準に3/18:流通構造変化
- 新型コロナで、海外技術実習生が不足3/18:労働実態に変化
- 和牛子牛相場急落 60万円台に3/19:実際のコスト相場に
- MMJ 北海道に一部地域で生乳集乳停止3/19:社会問題に
- 農林水産省 基本方針で有機農産物の国産比率84%
3/19:実効案が必要では
- 2月訪日客58%減 減少率は過去2番目(震災以来)3/20:一気ですね
- 自民党 和牛消費に商品券発行案3/25:要らん気遣い
- 全農 中国上海に現地法人3/26:国際商社一段と
- インド経済停止 工場閉鎖3/26:世界が止まる止まる
- 新型コロナで週末自粛 スーパー買い溜め繁盛3/27:落ち着け

東京直近NEWS

(3/30 Shi-REPORT)

ホルス

相場は下げ基調。

新型コロナ影響で外食産業、給食産業影響大きく減退。

量販関係は切り落とし材が何とか維持しているが、

牛肉全般苦戦で特に上位部位の荷余りが顕著。

冷凍品需要の減少が大きくなっています、各産地冷蔵在庫が増加。

これからの行楽、BBQ需要にも影響多大可能性。

経産牛

経産牛相場は高値安定状況継続。

出回り頭数にも増減あり相変わらず集荷も不透明。

新型コロナ影響で学校給食中止になっており生乳生産の調整必至。

挽き材が唯一販売維持しているが、パート関係は停滞。

ロインやカタロースパーツが荷余りしており、外食加工筋向けが軒並みダウン。

報道では連日、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症の世界的な大流行の動向を追っています。世界各国の移動・外出禁止等で世界経済は減退し、東京オリンピックも1年以内の延期となり、日本の多方面で経済衰退が起きています。市民の外出抑制が経済に及ぼす影響の大きさを痛感します。確りしたという日本の医療体制が爆発的感染拡大に対応できるか？未だ治療薬やワクチンが未開発等の不安が募ります。一刻も早く治まって元の生活に戻れることを願うのは勿論ですが回復には長期戦の覚悟も必要のようです。世界共通の課題に政治と医療の力で克服して欲しいものです。e-びーふNews76号の学術情報は以下の通りです。

1.令和元年度 畜産関係新技術発表会(令和2年2月)

1) 改良効率アップ!受精卵で黒毛和牛の遺伝的能力評価 (道総研畜試生物工学・肉牛G)

黒毛和種の改良を子牛のDNAからのゲノム育種価算出を受精卵の切断細胞からのDNA増幅で遺伝子型を解析するゲノム育種価判定法に変える試みです。マイクロマニピュレータ設備と技術による受精卵細胞DNAからの遺伝子型判定率は98.1%と高く、残りの受精卵移植から得られた子牛の脂肪交雑ゲノム育種価が高い相関があり、受精卵ゲノム選抜は可能のようです。

2) 割球分離を活用した黒毛和種の種雄牛の作出の取り組み (家改セトウ勝)

肉用牛の種雄牛選抜は技術的に難しい胚の2分離技術で得られる一卵性双子の検定で行われており、安定的な胚生産が可能な経腔生体卵子吸引の体外胚生産と割球分離技術への改良効果を検討しました。体外受精後の初期胚の割球分離は、一卵性双子牛生産に切断2分離技術と同等の成果があり、肉用牛の育種改良に有効であることが示されました。

2. 畜産技術#778, 2020.3.

研究レポート1 国内で流通している大豆粕の反芻家畜における消化率および栄養価について(小林洋介: 家畜代謝栄養研)

牛の重要な植物タンパク質飼料資源である大豆粕の化学組成や消化率、TDN%を国内流通2種についてチモシー乾草などの基礎飼料とヤギで定期的な検証をしました。いずれの結果も2009年版の日本標準成分表と同様の値ですが、第一胃内分解性評価などECPd含量に影響する加工法の検討も必要と思われました。

3. 道畜草会報(8)2020：ワークショップ「センシングからその先へ～畜産草地管理におけるムーンショットとは～」

農業者が目指す月面とは? (小花和宏之; 北農研)

「困難だが実現によって、大きなインパクトがもたらされる壮大な目標・挑戦」は「ムーンショット」と呼ばれるようになっています。農業分野におけるムーンショットとは?ムーンショット的思考の「10倍の改善」には各種先端技術を導入したムーンショットスマート農業もその一つで「スマート農業実証プロジェクト」を政府が昨年から50億円/年の規模で開始、ブレイクスルーを生み出す可能性が期待されています。

4. 書籍「クリーンミート：培養肉が世界を変える」

ポール・シャピロ著、鈴木素子訳 日経BP 2020.1.発行

この話題は「e-びーふNews」No.2,2014年でも紹介されました。6年経った今、時代背景も変わり、大豆蛋白からの人工肉をフェイクミートと呼び、米国のスタートアップなどがクリーンミートと呼ぶのはマースと理非マーストリヒ大学のポスト博士の研究成果から始まりました。今や多くの食肉企業が培養肉のハンバーグなどの開発に乗り出すようになりました。

資源循環型肉牛生産シンポジウム 2019

話題提供1「有機畜産とICT活用 実践例」全5回シリーズ③

有機酪農研究会 会長 石川賢一氏



転載・再利用は固くお断りします